



難波ゼミ

メインテーマ「糖尿病のメカニズム」

日時：2011年9月9日、18:30~20:00

場所：広島市東区民文化センター（広島駅新幹線口徒歩10分）

広島市東区東蟹屋町10-31 TEL 082-264-5551

参加費・定員：1,000円/人・15名

第1回難波ゼミ開催のお知らせ

講師：鹿鳴荘病理研究所 難波紘二

（医学博士・広島大学名誉教授）

テーマ & 進行

18:30

・糖尿病のメカニズム（メインテーマ）

糖尿病対策の第一歩は糖尿病に関心を持つ事です。

現在治療中の方も再度、新鮮に楽しく糖尿病を再確認して下さい。

・インスリンからの解放

（難波先生ご自身の体験です）

19:15（頃）

参加者の方と質疑

- ・糖尿病治療中の方
- ・御家族に糖尿病患者がおられる方
- ・糖尿病予備軍の方
- ・質疑に具体性を持たせる為、検査値、薬剤名等は解る様にして御来場下さい。

20:00 終了

※-1 参加資格はありません。糖尿病に関心のある方が居られれば是非お誘い合わせの上お越し下さい。

※-2 会場地図→ (<http://www.cf.city.hiroshima.jp/higashi-cs/>)。次頁掲載。

※-3 本ゼミナールは非営利活動として開催されるもので、特定の健康食品・薬品・治療機器の斡旋販売を目的とするものではありません。

※-4 ゼミ終了後、懇親会を予定しています（参加自由）。

※-5 連絡：難波ゼミ事務局（仮）（090-7777-3419 暫定世話人：中河原）

講師プロフィール： 難波紘二（なんばこうじ）。

1941年広島市生。医学博士。広島大学名誉教授。「鹿鳴館病理研究所」を設立し代表を務める。広島大学医学部大学院博士課程。呉共済病院で臨床病理科初代科長。NIH 国際奨学生に選ばれ米国NIHCancerCenterの病理部に2年間留学し血液病理学を研鑽。帰国後、広島大学総合科学部教授となり、倫理学、生命倫理学へも研究の幅を広げ、2006年に起こった病気腎移植問題では、容認派として発言し注目される。著書に『歴史のなかの性—性倫理の歴史』『生と死のおきて—生命倫理の基本問題を考える』『覚悟としての死生学』『誰がアレクサンドロスを殺したのか？』等。『大学新入生に薦める101冊の本』の編集代表。鹿鳴荘便り(メルマガ)、「買いたい新書(エフロブで検索)」で精力的に書評を執筆中。鹿鳴荘病理研究所：東広島市福富町久芳 685-7 TEL/FAX082-435-2216,

新幹線口から線路沿いに岡山方面に歩きます。徒歩約10分です

